

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	赤からピンクへ！「桜と松の郷」花咲か爺さんプロジェクト
事業主体 (連絡先)	KIKAZARI 東筑摩郡筑北村坂北 10636
事業区分	(5) 環境保全・景観形成
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,273,401 円 (うち支援金：982,000 円)

事業内容

筑北村には、桜花木と正月飾り用のかざり松の2つの木の産業がある。しかし桜花木は生産者が高齢化していて後継者がおらず、かざり松は松枯れの広がりにより継続的な生産が難しい状況にある。松枯れで地域の景観がイメージダウンする中で、2つの木の産業に付加価値をつけて盛り上げていき、桜と松を地域の風景として整備していく。

- ・桜花木畑で花見イベント「花見キャンプ」を開催
- ・坂北地区東山の村有地に桜50本、赤松2,500本を植樹
- ・正月飾り講習会を開催
- ・桜花木の加温に導入予定の薪ボイラー用に、松枯れ材、および松枯れのリスクのある赤松を収集、伐採
- ・桜花木廃棄材を加工して燻製用チップの開発

事業効果

- ①住民に協力頂き、来年度は新たに3か所植樹を計画することができた。また小学校の授業の一環として植樹を行うことを、小学校に検討して頂いている。
 - ②皆伐され、草だらけとなっていた山地を耕して、桜と松を植えて整備をすることができた。
 - ③桜花木の廃棄材50kg分を燻製用チップとして有効活用することができた。また地域の温泉施設のレストランで燻製料理を試して頂けることになった。
- 花見イベントは20人の参加、正月飾り講習会は20人の参加。活動を信濃毎日新聞に取り上げて頂いた。

今後の取り組み

令和3年度事業は、事業の柱として今後も継続して続けていく。
桜の廃棄材のさらなる利用を進めるために、桜の枝を使用した草木染の製品づくりを行う。
桜花木に欠かせない加温用ボイラーに薪ボイラーを導入する。薪は松枯れ材や桜花木の廃棄材を使用していく。また松は、枯れるリスクのある大径木の伐採も進めていく。丸太は燃料用として、枝は正月飾り用として無駄なく使えるようにする。
また松枯れを伐採した現場では、桜の植樹を住民に促し、赤からピンクへ！を実現させていく。



【地域の方と桜の植樹】

【目標・ねらい】

- ①桜と松の植樹を住民に波及させる
- ②景観整備
- ③桜花木とかざり松の付加価値を高め、認知度を上げる

※自己評価【 A 】

【理由】

- ・住民の事業協力を新たに3件得ることができた。
- ・住民だけではなく学校や施設で、波及効果があった。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある